

協働による道づくりの概要

○資材支給事業

- ・舗装されていない砂利道：足場が悪い、雨で砂利が流出、除雪が困難⇒課題
 - ・役場が資材を提供、住民自ら生活道路を舗装する取り組み
- ⇒「協働の精神」に基づいて行われている

○2012年度～：住民と学生との協働による道づくり

- ・資材支給事業に本研究室が加わりスタート

○産学官民WINWINな関係

- 産：技術支援⇒地元からの信頼を得られ、コンクリート舗装の普及を図れる
- 学：若い力の提供⇒コンクリート舗装の現場実習の機会を得られ、地元貢献ができる
- 官：資材提供⇒財政とインフラの健全化を図れる
- 民：労働力の提供⇒道路の課題を解決し、住民の活力向上を図れる

